

令和8年度

就学支援シート



活用のご案内



「就学支援シート」は、京都市内の幼稚園・保育園（所）・認定こども園に在籍し、京都市内の小学校に来年度就学予定の、発達に関して心配のあるお子さんが、小学校入学後、新しい環境への戸惑いや不安を軽減し、学習や生活を円滑にスタートできるように、就学する小学校にお子さんの様子などを伝えるものです。

保護者の方が幼稚園・保育園（所）等と協力して作成し、12月末までに就学予定の小学校に提出していただきます。（ただし、私立及び京都教育大学附属の小学校に就学される場合は入学手続き終了後に提出していただきます。）

作成を希望される保護者の方は、通っておられる幼稚園・保育園（所）等にご相談ください。

就学支援シートは、個人情報であるため、厳重に保管されます。また、目的外の使用は決して行いません。

京都市・京都市教育委員会

就学支援シートとは・・・



作成の対象となるお子さん

- 京都市内の幼稚園・保育園（所）等に在籍し、市内の小学校に来年度就学予定の発達に関して心配のあるお子さんが対象となります。（LD等の支援の必要なお子さんを含みます。）

シートの入手方法

- 幼稚園・保育園（所）等にお申し出ください。



記入してほしい内容

- 家庭・地域・幼稚園・保育園（所）等でのお子さんの様子
…お子さんのよいところ、伸びたところ、できること、得意なこと、好きなこと等
- 家庭・地域・幼稚園・保育園（所）等で配慮してきたこと
…お子さんがどうしても苦手なこと、情緒が不安定になったときの対応の仕方等
- 家庭・地域・幼稚園・保育園（所）等で意欲的に取り組むために工夫してきたこと
…お子さんに合わせて工夫した教材・教具、言葉かけなどの支援の内容等

記入方法・留意点

- **保護者記入欄**は、「表紙」、「1・2・3」及び「4の表の左側（家庭や地域でのお子さんの様子）」です。
- 4の表の右側の「幼稚園・保育園（所）等でのお子さんの様子、支援の内容等」は、幼稚園・保育園（所）等で記入します。保護者の方から幼稚園・保育園（所）等に記入を依頼してください。
- すべての欄に記入する必要はありません。主に伝えたいことがあれば記入ください。
- 小学校に対し、就学支援シートだけでは伝えきれないことがある場合や、並行して通園している療育施設等での様子も伝えたい場合は、参考になる資料（相談・療育・医療等関係機関の検査結果、個別支援計画のまとめや使用している教材の写真等）をシートに添付してください。

提出先等

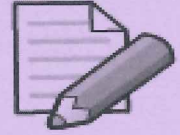
- 市立小学校に就学される場合はご入学の3か月前（12月末）までに、私立及び京都教育大学附属の小学校に就学される場合は入学手続き終了後に提出してください。
- 提出いただいた際に、小学校での相談をさせていただく場合がありますので、ご持参される前に小学校にご連絡ください。

小学校での活用

- 小学校では、就学に向けてお子さんの理解を進めます。そして、お子さんの小学校生活のあり方について、幼稚園・保育園（所）等と連携しながら、保護者の方とともに考え、より適切な指導・支援につなげていきます。就学支援シートは、そのための大切な道しるべになるものです。

就学支援シートの管理

- 就学支援シートは個人情報です。幼稚園・保育園（所）等や提出先の小学校では厳重に管理します。（市立小学校では、基本的にお子さんが1年生の間、原本を保管した後、保護者の方に返却します。）



作成・提出の流れ

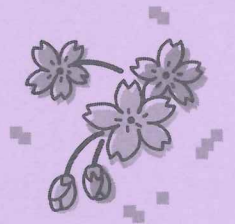
- 6月～
- ① 作成を希望する保護者の方は、まず在籍している幼稚園・保育園(所)等にご相談ください。
 - ② 相談の結果、作成することになった場合は、幼稚園・保育園（所）等から、就学支援シートをお受け取りください。
 - ③ 保護者の方は、就学支援シートの保護者記入欄に、お子さんの氏名や、相談された施設等の他、心配ごと、家庭・地域での様子などを記入してください。必要に応じて、幼稚園・保育園（所）等と情報共有してください。
 - ④ 就学支援シートを記入後、幼稚園・保育園（所）等に、園等でのお子さんの様子や支援の内容などの記入を依頼してください。
- ～12月末
- ⑤ 幼稚園・保育園（所）等での就学支援シート記入後、記入されている内容を確認のうえ、就学する小学校に事前に電話連絡の上、ご持参ください。
 - ⑥ 小学校は、就学支援シートをもとに、就学に向けて、保護者の方や就学前施設と連携しながら、お子さんの理解を進め、入学後の適切な指導・支援につなげていきます。
※私立及び京都教育大学附属の小学校には入学手続き終了後提出してください。

○ 就学支援シートの具体的な記入方法については、在籍する幼稚園・保育園（所）等にお問い合わせください。

○ 就学支援シート事業実施に関するお問い合わせ先

京都市教育委員会総合育成支援課

TEL・・・352-2285



— 「就学支援シート」様式（記入例） —

1 お子さんの通っている幼稚園・保育園（所）等 保護者記入欄

通っている幼稚園・	(OO)	幼稚園・保育園(所)・認定こども園 (3 才 3 月 ~ 6 才 月 まで)
保育園・認定こども園等	()	幼稚園・保育園(所)・認定こども園 (才 月 ~ 才 月 まで)

2 お子さんが好きなこと、苦手なこと 保護者記入欄

<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす遊びが好きで、よく走り回ったり、ボール遊びをしたりしています。 ・昆虫が好きで、図鑑をよく見えています。 ・紙やノートに、好きな数字や文字を書くことが好きです。 ・活発ですが、周りの状況を把握しながらの行動が苦手なので、けがをすることも多いです。 ・はじめてのことや場所が苦手で、慣れるまでに時間がかかります。 ・太鼓のような大きな音が苦手です。
--

3 お子さんについて特に気になること、心配なこと 保護者記入欄

<ul style="list-style-type: none"> ・新しい先生や友達など、新しい環境に慣れるまでに時間がかかるので心配です。 ・友達とトラブルになった時に、子ども同士の話し合いで解決することは難しいと思います。 ・自分の思いをうまく伝えられないとかんしゃくを起すことがあります。 ・大勢の人がいる場面には入りにくいかもしれません。

※お子さんの相談歴・療育歴があればご記入ください。

これまで 相談したところ	① [どこで] (児童福祉センター)、() 病院(Dr.) [内容] 言葉のおくれ [期間] ROO.O ~現在
これまで 受診した病院	② [どこで] ()、() 病院(Dr.) [内容] [期間] ~
これまで 通った療育機関	[かかりつけの病院] (△△) 病院 (Dr. OO OO) [服薬等] 何の薬 (特になし)
手帳	身体障害者手帳(種 級) 療育手帳 (A・B) 精神障害者保健福祉手帳(級)
医学的 診断	ROO年O月頃 (O 才 Oヵ月頃)、機関名 (児童福祉センター) 診断名 (△△△△)、医師名 (OO OO)
医学的 診断	年 月頃 (才 カ月頃)、機関名 () 診断名 ()、医師名 ()

4 家庭や幼稚園・保育園（所）等での様子

○：得意 いつでもできる
△：普通 時々できる
×：苦手
を目安にご記入ください

保護者記入欄

幼稚園・保育園（所）等記入欄

●記入者氏名 ()

	家庭や地域でのお子さんの様子 ()内には○・△・×を記入してください。 [下半分は補足等あれば記入してください。]	幼稚園・保育園(所)等での お子さんの様子、支援の内容等
生活 面	(○) 一人で着替える (△) お箸を使って食べる (○) 大便を一人でする (○) 決まった場所に物を片づける ・生野菜が苦手です。 ・冬になると風邪をひきやすいのですが、以前と比べると幼稚園を休むことも少なくなりました。	・苦手なものは分量にしたり、小さく切っておくと自分で食べようとします。園ではスプーンを使用しています。 ・一日のスケジュールを写真でボードに示しておくとその流れや次の活動を把握しています。
運動 面	(○) はずむボールをつかむ (○) スキップができる (△) 見本の動きを真似して踊る (×) 紙の端をそろえて折る ・スイミング教室に通っています。 ・補助輪付きの自転車に乗れますが、ブレーキをかけるには声かけが必要です。	・集団で遊ぶゲームは、自分から積極的に参加はしませんが、指導者が誘うと嫌がらずに参加します。ルールの理解は難しいので、声かけをしています。 ・紙をちぎるなど、細かな手作業は苦手ですが、そばについて励ましたり、少し援助すると、最後までやりきろうとします。 ・以前は、絵の具や粘土などで手が汚れることが嫌でしたが、少しずつ慣れてきて、現在では自分から活動できます。
行動 面	(△) 約束やルールを守って遊ぶ (△) おもちゃが欲しくても我慢する (△) 食事中、座っていることができる (△) 信号に従って道路を渡る ・約束やルールはわかるように伝え理解できると、守ろうとします。 ・思い通りにいかないと、時おりかんしゃくを起こします。	・大きな音のするところや、ざわざわする集団の中では、落ち着かず、部屋を出ていくことがあります。しばらくして声をかけると戻ってくることができます。 ・思い通りにいかない時には、あせて落ち込んだりイライラしたりすることがあります。「大丈夫だよ。」と何度か声をかけると落ち着きを取り戻すことができます。
こと ば か ず	(△) 言葉の指示を聞いて行動する (△) はっきりと言葉で話すことができる (○) ひらがなで書かれた自分の名前を読む (○) つみきを5つとる ・話をすることは大好きですが、発音の不明瞭な音があります。 ・文字や数字に興味を持っており、一人でたくさん書いて遊んでいます。	・園生活に必要な簡単な指示は、理解して行動しています。 ・集団の中で話を聞くことは難しいので、イラストや写真も使って話すようにしています。 ・全体指示の後、個別にもう一度説明すると、安心して取り組みます。 ・発音不明瞭なところがありますが、自分で何度か言い直しながら伝えようとします。
人 と の か か わ り	(△) 2～3人の友達と遊ぶ (×) 友達どうして身近なことについて話を (△) 友達と順番に物を使う (○) ジャンケンの勝ち負けがわかる ・普段の生活では大丈夫ですが、行事などいつもと違う場面では、「怖い」と感じて動けなくなることがあります。	・以前は一人で遊んでいることが多かったのですが、最近では数名の特定の友達には自分から関わろうとする姿が見られるようになってきました。 ・困ったことがあると動きが止まってしまうことがあります。何をすればよいかを具体的に伝えることで、安心して行動できるようになります。